

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

2003 年 5 月 12 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

ここまでご説明したことは、**基準線の向いている方向が相場の向いている方向**だということです。つまり、**長期間にわたって下げ続けた基準線が上に向いた瞬間こそが買い場**であるわけです。(前回までのレポート参照)

今回は **5016 新日鉱ホールディングス** を分析してみます。

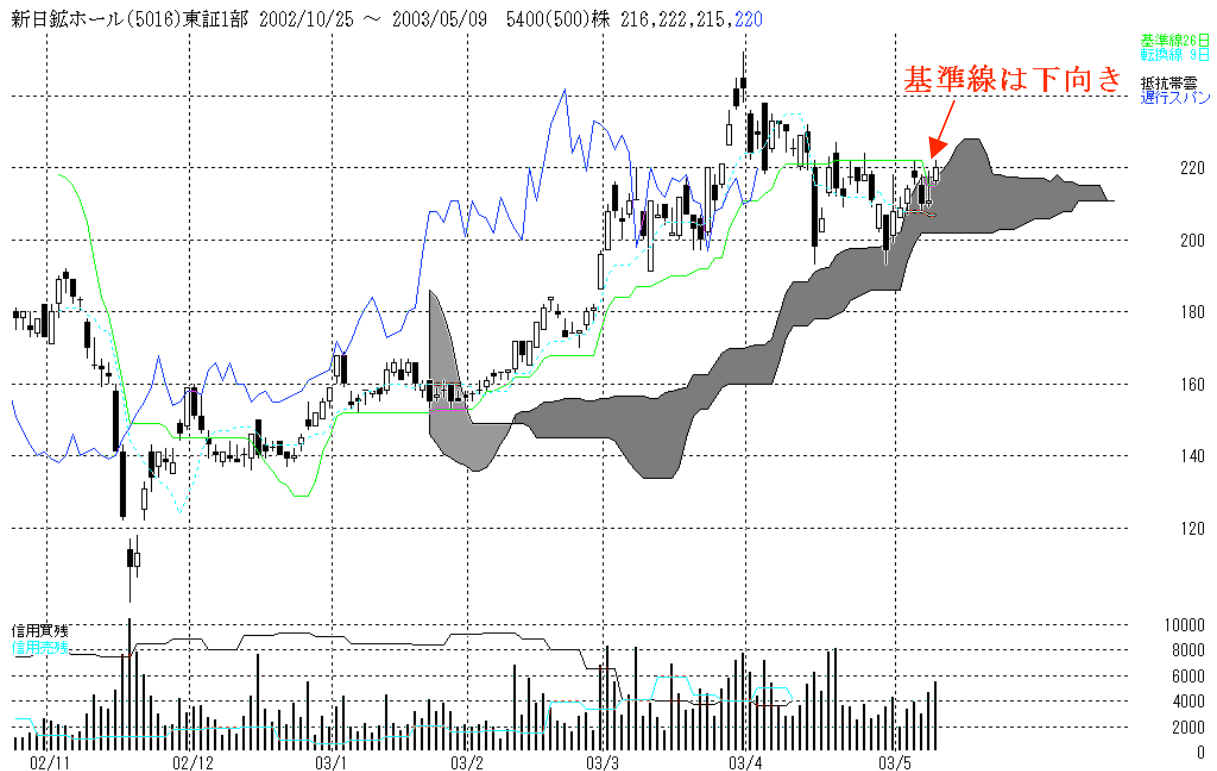
おわかりいただけるように、これまでご説明してきたことと全く反対の動きです。つまり、長期間にわたって上げ続けた基準線が直近では下に向いています。基準線の向いている方向が相場の向いている方向であるわけですから、これまでの上昇トレンドに終止符が打たれたこととなります。したがって相場の基調は押しめ買いから戻り売りに変わった……。

このように、とにかく **基準線の向いている方向に注意して下さい**。それを事前に予測することも可能です。つまり、立ち合い日数過去 26 日間の安値を下回るか、直近につけた高値を立ち合い日数で 26 日たっても上回ることが出来なければ基準線は下に向くことになります。(注意……例外的なケースもありえますが基本はこのように考えて下さって結構です) 次回に続きます

この件に関するお問い合わせは 03-3669-5022 質問メールは dekioka@hikarikeizai.co.jp

毎日更新、旬な銘柄を選んで分かりやすく解説する、**無料テレフォンサービスの「やさしいチャート教室」** 03-3669-5552 で放送中、是非お聞きください。

《新日鉱ホールディングス》日足



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。